

一般研究集会（課題番号：2020K-05）

集会名：ジオパークを活用した地域住民—レジデント型研究者—行政連携の防災活動のあり方

主催者名： ※共催の場合

研究代表者：目代邦康

所属機関名：東北学院大学

所内担当者名：山崎新太郎

開催日：令和2年11月21日～11月23日

開催場所：京都大学防災研究所徳島地すべり観測所

参加者数：22名（所外21名、所内1名）（内2名はオンライン参加）

- ・大学院生の参加状況：2名（修士2名、博士0名）（内数）
- ・大学院生の参加形態 [発表]

研究及び教育への波及効果について

ジオパークの活動により、地球科学の専門的教育を受けた者が雇用され、地域作り、地域の地学的自然遺産の保護活動に関わるようになってきている。そうした中で、各地の防災・減災の活動をどのように進展させているのか情報共有がはかられた。この研究集会により、こうした情報共有の機会の必要性が認識されたので、今後も継続して議論していく場がつけられてくるだろう。

研究集会報告

(1) 目的

人口減少社会において、地域防災力低下は大きな問題であるが、地域住民が地学的環境を理解し、人的つながりを強化していくジオパーク活動は、問題解決のツールとなり得る。四国は地震、津波、河川、斜面災害などの多発地域であるが、四国にあるジオパークでは専門員らによって地域密着の防災活動が行われてきた。そうした活動について意見交換や現地巡検を行い、ジオパークという仕組みを活用した防災・減災活動の将来像を考える。

(2) 成果のまとめ

研究集会の会場とした徳島県三好市は、京都大学防災研究所徳島地すべり観測所があり、日本ジオパークの認定を目指している地域である。ジオパークの活動は、地域の地学的自然遺産の保護などを行う仕組みであるが、その活動を通じて、地域住民が周辺地域の地学環境を正しく認識するようになるため、地域の防災・減災活動にも有用である。研究集会では、各地のジオパーク実践地域あるいは目指している地域において、ジオパークの防災・減災活動に対する機能について研究者、行政担当者で議論、意見交換をした。また、現地巡検を行い、研究集会参加者と地域住民と意見交換の場を設けた。

各地のジオパークで、その仕組みを利用しながら、地学的知識の普及、教育を行い、地域の防災力向上を図っていることが報告された。特に、自然災害を経験した地域では、地域住民の意識の高まりが見られている。地域住民に対する地学的知識の普及、教育は、容易なことではないが、ジオパークの仕組みを用いることで、各地の自然災害の被害軽減に何らかの貢献ができることが考えられる。今後も継続して、その方法について検討していくべきであることが確認された。

(3) プログラム

2020年11月21日（度）

8:30 三好市内フィールドワーク（四国山地の地すべり地形、山間地の集落の見学）

2020年11月22日(日)

9:00 目代邦康(東北学院大) 趣旨説明: ジオパークを活用した地域住民—レジデント型研究者—行政連携の防災活動のあり方

第1部: 各地のジオパークの取り組み

9:15 榑山 匠(四国西予Gp) 平成30年7月豪雨で被災したジオパークとしての取り組み

9:45 佐藤英和(栗駒山麓Gp) 地震による斜面災害の実際と活用までの道のり

10:15 杉本伸一(島原半島Gp) 島原半島ジオパークにおける災害遺構保存の経緯と防災への活用

10:45 (議論)

11:00 野口和典(南紀熊野Gp) 南紀熊野ジオパークエリア内の防災啓発の取り組み事例

11:30 殿谷 梓(三好Gp 構想) ジオハザードに対する三好ジオパーク構想としての取り組み ~序章~

12:00 中村有吾(十勝岳Gp 構想) ジオツーリズムを通じた防災科学研究と社会教育(オンライン)

13:45 長谷川修一(香川大) 「長谷川先生と行く三好ジオツアー」と「土器川かわ歩き」のねらい

14:15 渡辺真人(産総研) 世界各地のジオパークのDRR活動

14:45 小野 純(東京大・院) ユネスコ世界ジオパーク評価報告書のテキスト解析

15:05 吉良洋美(筑波大・院) 鹿児島県喜界島におけるジオストーリーの構築とジオツーリズムの醸成

第2部: 災害研究と情報発信

15:40 西山賢一(徳島大) 三好市における土砂災害の歴史

16:10 山崎新太郎(京都大) 四国の地質と斜面災害

16:40 宮崎徳生(和歌山県土砂災害啓発C) 和歌山県土砂災害啓発センターにおける啓発活動等の取り組み

2020年11月23日(月)

第3部: 自然災害とサイエンスコミュニケーション

9:00 金森晶作(十勝鹿追Gp) 科学と地域のつなぎ方 北海道での科学コミュニケーション事例から

9:30 廣瀬 亘(道立総研) 地質災害に対しジオパークのコンセプトで何が出来るか? 北海道を例として(オンライン)

10:00 此松昌彦(和歌山大) 和歌山大学におけるジオツアーを融合させた防災教育プログラム

10:30 目代邦康(東北学院大) 小中規模自然災害後のジオパークに関連する研究者の現地調査

11:00 柚洞一央(公立鳥取環境大学) 災いと生きる~地域住民の視点で一緒に考える

(4) 研究成果の公表

研究集会全体に関する公表は特に行っていない。